

# グローバル戦略のポイント

## 「グローバル戦略」の目指す2010年頃のこの国のかたち

- 産業のフロントランナーとして世界をリードする国
- 国際社会において知的なリーダーシップを発揮する品格ある国

### 1. 人材の国際競争力の強化

#### (1) 人材の質の向上

- ・国際学力調査：世界トップレベルの達成
- ・若者フリーター：約2割減少
- ・若者の自立を目指す新たなプランの作成(2007年度)
- ・TOEIC：700点程度以上(英語で仕事ができる)の者の倍増

#### (2) 外国人人材の受入れ拡大と在留管理の強化

- ・高度人材の受入れ拡大に向けた制度整備
- ・介護等の分野においても受入れ範囲の見直しを検討
- ・実効性のある在留管理システムを構築

### 2. 産業の国際競争力の強化

#### (1) 研究開発機能、知的財産戦略の強化

- ・世界的な研究拠点：30拠点程度

#### (2) 国際拠点港湾・空港の機能向上による国際的事業展開の支援

- ・スーパー中枢港湾の港湾コスト、リードタイム：約3割低減、1日程度
- ・空港：成田空港(約1割)、羽田空港(約4割)の能力増強のための施設整備

#### (3) 外国からの投資をひきつける環境の整備

- ・2010年に対日投資の対GDP比倍増となる5%程度

#### (4) 経営効率化・高付加価値化等による農林水産業の国際競争力の強化

- ・効率的かつ安定的な農業経営：農地の7～8割(2015年)
- ・農林水産物・食品の輸出額：5年で2倍の6000億円
- ・農協の経済事業の改革などにより食料供給コストを5年で2割縮減

### 3. 地域の国際競争力の強化

#### (1) 地域における多文化共生社会の構築

- ・外国人の医療、子弟の教育など生活者としての外国人の問題について、その解決に向けたコストの負担のあり方にも留意しつつ、総合的な対応策を本年内にまとめる。
- ・「地域における多文化共生推進プラン」を踏まえ、少なくとも全都道府県・政令指定都市において、それぞれの指針・計画等を策定する

#### (2) 交流人口の拡大

- ・外国人旅行者数：1000万人
- ・都心から成田空港までの鉄道によるアクセス：30分台

### 4. 対外政策のあり方と国際社会への貢献

#### (1) EPA工程表に沿った交渉の加速と東アジア経済圏の構築

- ・我が国の全貿易額に占めるEPA締結国との貿易額の割合：25%以上を期待

#### (2) 東アジアにおけるOECDのような国際的体制の構築に向けた取組

- ・東アジアにおいて、OECDのような国際的体制の構築に向け積極的に取組

#### (3) 我が国の得意分野や特徴を活かした世界をリードする援助政策

- ・海外経済協力会議において以下の点を踏まえ基本方針を早急に策定  
ODA事業コスト：無償資金協力、技術協力を中心に例えば15%縮減

#### (4) アジアにおける包括的な国際環境・エネルギー協力の推進

#### (5) 資源・エネルギー政策の戦略的な展開

- ・エネルギー効率改善：30%(2030年)
- ・石油依存度：40%を下回る水準(2030年)
- ・海外での自主開発比率：40%程度(2030年)

#### (6) 情報発信力の強化

- ・海外の日本語教育機関における日本語学習者数：300万人

(注)「グローバル戦略」をもとに内閣府作成